

秀嶺天

相浦中
学校通信
発行人 宮原
通算66号
H30.4.25

校訓
今日も、
明るく、
誠実に

個性を磨く部活動



四月十八日放課後、部活動発足会を行いました。
一年生も正式に入部し、活動を始め
ています。自分で選んだ部で、先輩・
同級生・後輩との人間関係の築き方な
どを学びながら、挨拶・返事・整理整

頓といった社会に出ても必要とされる最低限度の事を身につけさせます。その上で体力や技術の向上を図りたいと考えています。
さらに、それぞれの生徒が持つ可能性を大いに伸張させ、個性を發揮できる場となればと考えます。もちろん勉強と部活動の両立を目指しています。

部活動を通じた人間づくり

部活動運営については次の事項を基本とします。

(1) 活動は学校体育を基本とする。社会体育とは一線を画する。
(2) 活動時間は次の通りとする。

期間 終了時刻 下校時刻
三月～九月 十八時三十分 十八時四十五分
十月～二月 十八時 十八時十五分
十一月～一月 十七時四十五分 十八時

(3) 健康・安全面を考慮し、原

則週1日以上休養日を設ける。

(4) ノー部活動デーは毎月第3日曜日。

(5) 顧問や外部コーチが不在の場合練習は中止する。

(6) 定期テスト前は5日前から活動中止とする。大会が間近に迫っているときは校長の承認を受け、勉強に影響がない程度の練習を許可する場合がある。

(7) 触法行為や問題行動等があった場合は活動を一定期間中止する場合がある。

(8) 部活動中の傷害保険は日本スポーツ振興センターの適用範囲であり、怪我等があった場合は養護教諭を通して速やかに申請する。

思いっきり活動し、心と体を成長させていきたいと考えます。保護者の皆様のご理解をお願いいたします。



軟式野球部県下選手権大会(4月21日)

主体的で対話的な

生徒の育成

新学習指導要領が平成三十年三月に告示されました。これから十年程はこの指導要領に沿って教育が進められることとなります。

その中心が「主体的・対話的・深い学び」いわゆるアクティブラーニングです。相中ではそれに先駆けて主体的・対話的な生徒につながる「めざす四つの態度」を定め育成することを研修テーマに掲げて一年間研究していきます。その四つの態度とは次の通りです。

- 一、伝える態度
- 二、考える態度
- 三、聴く態度
- 四、問題解決する態度

授業中にはもちろんのこと、学校行事や生徒会活動、部活動学校教育全般を通して育成してまいります



対話的な態度を育成する授業風景